

平成30年度 ほうゆう保育園の自己評価

平成31年3月26日

ほうゆう保育園

1・運営について

第三者評価を受審したことで保育を再確認することができた。室内設定や食育活動子どもたちへの接し方などは高く評価して頂き、職員の自信にもなった。

地域支援体制はまだまだ十分とはいえず、今後の課題が浮き彫りになった。

次年度は 園庭開放や行事への参加を呼びかけ保育体験をして頂けるようにアピールの仕方を工夫していく。

また 苦情を受けることがあり、保護者支援やコミュニケーション能力に力不足を感じた。職員一人一人が課題を受け止め、園内、園外の研修に参加し力をつけていきたいと思う。

防犯カメラを3台設置した。

2・保育内容

日々の活動は工夫し、クラスの計画に沿って実行できたと思う。畑や雑木林、公園に出かけ自然に触れることも多く持てた。行事は今までの経験を活かし、子どもたちが満足できるものになったと思う。

ひとみ座を招いて人形劇を観劇したり、羊のショーが来園してダンスを一緒に踊ったりという経験が出来た。

3・収支

収入は減っているが黒字経営はできている。

4・給食

誕生会・運営委員会で保護者の方に検食して頂いている。子ども達も良く食べ、給食を楽しみにしている。5歳児は配膳の手伝いを喜んでしている。